

# 平成20年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク講演会

## — 来賓挨拶 —



国土交通省港湾局 須野原 豊  
(代理：港湾局振興課長 宮本 耕一)

ご紹介賜りました振興課長の宮本でございます。

皆さまご案内のように、今日が丁度組閣の日に当たってしまいました。須野原局長からは、くれぐれもよろしくという言葉とともにお前だけで行ってこいとかういったことで私参りまして挨拶預かって参りましたので代読をさせていただきます。

「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」の平成20年度総会・講演会のご盛会をお喜び申し上げます。「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」は地理的・歴史的・経済的・文化的に相互に関係が深い日本海沿岸地域がその多量な資源を活かしながら対外諸国との交流も含めて地域連携と交流の拡大を図ることを目的とし、大変重要な取り組みをなされているものと認識をしております。

最近日本海沿岸地域からは元気な話題が数多く聞こえてまいります。日本海地域諸港の外貿コンテナ取り扱い貨物量の伸びは著しく、過去10年間の伸び率は2.8倍と全国の1.6倍を大きく上回っております。国際フェリー航路の新規開設や内向フェリーを活用いたしました完成自動車の移出が実現するとともに、シベリア鉄道の活用を見据えた我が国とロシア間の輸送ルートの構築に向けた検討が行われております。太平洋と結ぶ高規格道路を活用いたしました地域間連携も活発に検討されております。

また、日本海主港を巡るクルーズ船の寄港も活発化しており、各地では景観・自然・歴史・文化遺産・食・レクリエーションなどの港の様々な資源を活用した港町づくりが進められております。港を活かした地域振興は私共にとりましても大きなテーマであり、国土交通省港湾局におきましてはそれぞれの港の特性を活かした皆さまの地域の活性化の取り組みを支援申し上げる施策を一層推進して参りたいと考えております。

最後になりますが、ご参加の皆さま方と日本海沿岸地域の発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

平成 20 年 9 月 24 日、国土交通省港湾局長須野原豊。本日のご盛会誠にありがとうございます。